

# 電子メール

## 電子メールとは

電子メールは、情報通信ネットワークを通じて文字やその他のデジタル情報を送り合うコミュニケーションツールであり、それまで使われていた郵便(メール)とよく似たシステムであることからこの名称がつけられた。electronic mail の略で、「Eメール」と呼ぶ場合も多い。

郵便と異なる点は、まず送信に係るコストが非常に小さいことが挙げられる。送信に要する時間もわずかであり、地理的な制約も受けない。

また、パソコンの場合は届いているメールを任意の時間に受け取ることができるので、自分の都合の良い時間にメールを送ることができる。

さらに、電子メールでやりとりされる情報は、デジタルデータであるため、メッセージの作成や編集が容易で、大量のメールでも保存が可能である。大量のメールの中からキーワードや受信日時、送信者などを検索することもできる。文字のメッセージ以外にも、ファイルや画像データ、プログラムなどをメールに添付して送受信することもできる。

電子メールはわずかなコストで、直ちに、どこにでもメッセージを送ることができる。携帯電話の普及も電子メールが身近なコミュニケーションツールに成長した理由である。電子メールは社会の情報化の進展に対応して、その役割が重要視される基本的なコミュニケーションツールといえる。

## 電子メールの仕組み

電子メールの送受信では、まず送信者のパソコンや携帯から送信されたメッセージは、自分のサーバーから、宛先ユーザーのサーバーへと転送される。

次に、受信者がサーバー上の自分のメールボックスへアクセスすると、メッセージが受信者に届く。

ただし、携帯メールの場合は専用のサーバーから自動的に着信が携帯電話に届き、メールが送られる。電子メール作成のアプリケーションソフトをメールソフトやメーラーと呼び、またメールソフトを用い

ずに、Web ブラウザ上から電子メールの作成・編集を行う Web メールもよく使用されている。

## 電子メールの問題点

電子メールの抱えている問題点として、コンピュータウイルスやワームを送りつける手段としてしばしば利用される点や、膨大な量の迷惑メール(スパムメール)が蔓延していることが挙げられる。

電子メールはコストがかからず、メールアドレスさえあれば誰にでも送信することができる。さらに、メールアドレスを自動的に収集あるいは発生させるプログラムなどを使って、大量の迷惑メールが不特定多数相手に送りつけられることもある。そのようにして送られた電子メールの添付ファイルやリンクに不用意にアクセスすると、コンピュータウイルスに感染したり、フィッシング(→p.78)の被害にあったりすることがある。

このような被害を防ぐには、メールフィルタリングソフトを導入する、あるいは、差出人に心当たりのないメールは開封せず削除する、などといった対応が求められる。

## 子どもに関わる電子メールの課題

子どもたちも電子メールに関わって様々なトラブルに巻き込まれている。

例としては、電子メールを使って人権侵害や名誉毀損などのネットいじめ(→p.70)を起こしたり、次々とデマの情報がメールで回されるようないわゆるチェーンメールの被害にあったりすることがあげられる。電子メールの使い過ぎでメール中毒や依存症になったり、逆に一定の時間以内に返事を返さないと友達ではないなどといった内輪のルールを定めて生活のリズムを壊してしまったりするケースも報告されている。

電子メールの健全な使用方法を、学校教育においても指導することが求められている。